

(51) Int.Cl.³

B 6 2 L 3/02

B 6 2 M 25/04

識別記号

Z

庁内整理番号

A 2105-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平4-24111

(22) 出願日 平成4年(1992)4月16日

(71) 出願人 000002439

株式会社シマノ

大阪府堺市老松町3丁77番地

(72) 考案者 田部 耕嗣

大阪府堺市老松町3丁77番地 株式会社シマノ内

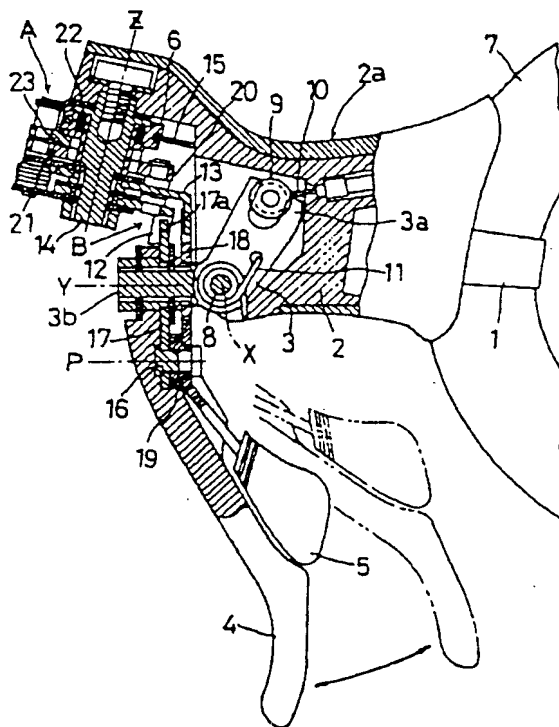
(74) 代理人 弁理士 北村 修

(54) 【考案の名称】 自転車用ブレーキ操作装置

(57) 【要約】

【目的】 ブレーキレバーを变速レバーに兼用して变速ワイヤ用巻き取り体の回動操作ができる自転車用ブレーキ操作装置を、巻き取り体の配置設定が有利に出来る状態に得る。

【構成】 固定部材2に揺動部材3を第1軸芯Xまわりで揺動可能に取り付け、揺動部材3の一方の遊端側にブレーキ用ワイヤ10の連結部3aを設け、他方の遊端側にブレーキレバー4を連結し、ブレーキレバー4の第1軸芯X周りで揺動操作による揺動部材3の揺動操作によって、ブレーキ用ワイヤ10を操作する。ブレーキレバー4を、揺動部材3に対して第1軸芯Xとは異なる第2軸芯Y周りで揺動可能に構成するとともに連動機構Bにより、巻き取り体6を備える变速操作装置本体Aに連動させ、ブレーキレバー4の第2軸芯まわりでの揺動操作により、巻き取り体6を回動操作する。巻き取り体6は、固定部材2の基端側部分2aを細く形成できるように、固定部材2の前端部に第2軸芯Yとは異なる軸芯Xの周りで回動するように取り付けである。



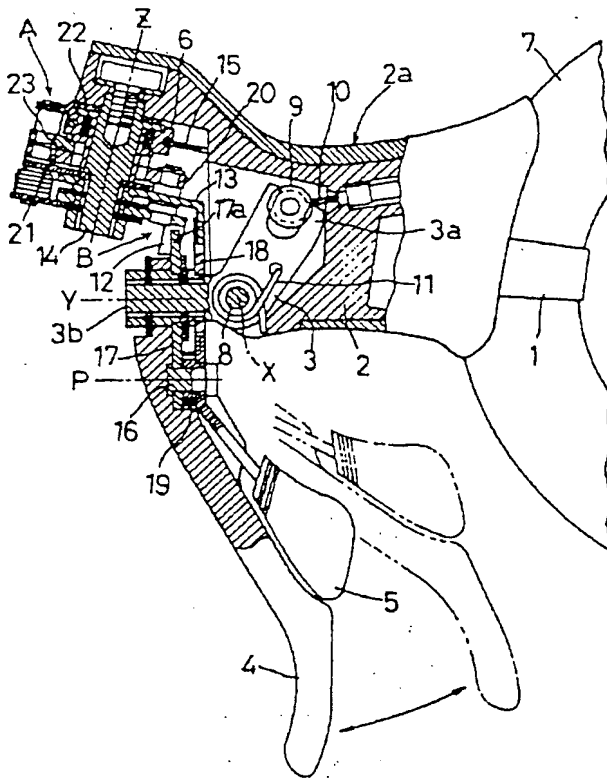
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項１】 自転車に固定する固定部材（２）に対して、ブレーキレバー（４）を第１軸芯（Ｘ）周りと、この第１軸芯（Ｘ）とは異なる第２軸芯（Ｙ）周りとにそれぞれ揺動可能に取り付け、前記ブレーキレバー（４）の前記第１軸芯（Ｘ）周りへの揺動でブレーキ用ワイヤ（１０）を操作し、前記第２軸芯（Ｙ）周りへの揺動で変速用ワイヤ（１５）の巻き取り体（６）を回動操作するように構成した自転車用ブレーキ操作装置において、前記巻き取り体（６）を前記固定部材（２）に対して前記第２軸芯（Ｙ）とは異なる軸芯（Ｚ）周りに回動可能に取り付けてある自転車用ブレーキ操作装置。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 自転車用ブレーキ操作装置全体の一部切欠き側面図

【图 1】



【図2】連動機構の正面図

【図3】連動機構の正面図

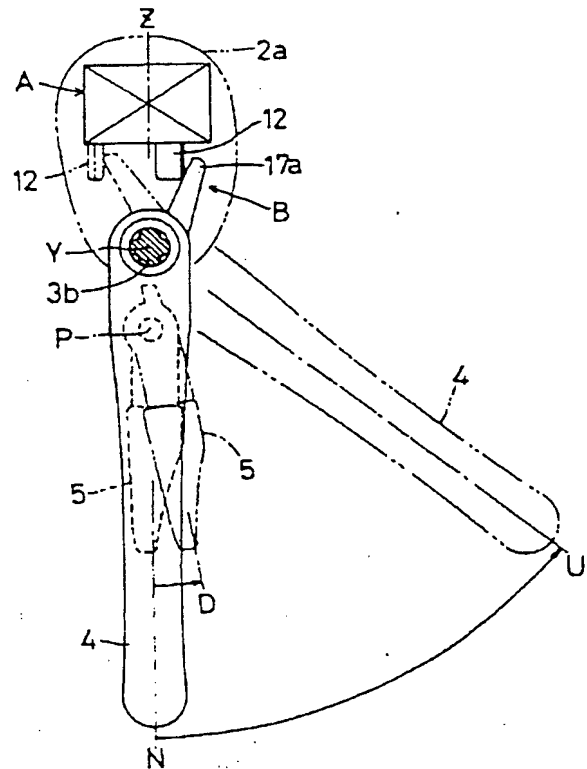
【図4】別実施ブレーキ操作装置全体の一部切欠き側面図

【図5】別実施ブレーキ操作装置におけるレバーの操作位置を示す正面図

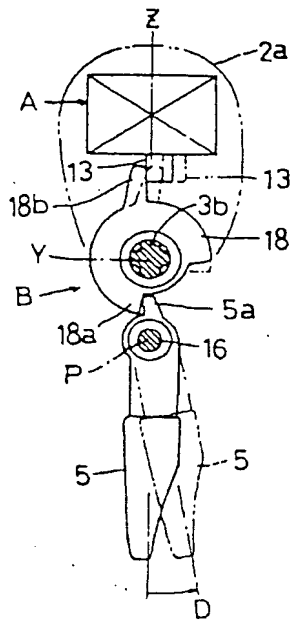
【符号の説明】

2	固定部材
4	ブレーキレバー
6	巻き取り体
10	ブレーキ用ワイヤ
15	変速用ワイヤ
X	第1軸芯
Y	第2軸芯
Z	第3軸芯

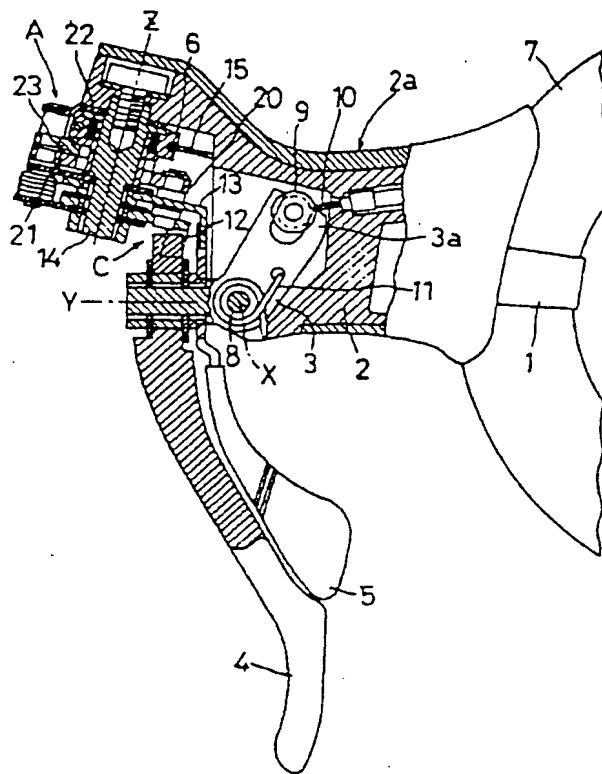
【图 2】



【图 3】



【例 4】



【图 5】

